

下野市立吉田西小学校



1 学校課題

学ぶ楽しさを実感し、自ら学ぶ児童の育成
～魅力ある授業への改善を通して～

2 研究計画

(1) 課題設定の理由

今年度は、昨年度まで取り組んできた言語力の育成という視点にとらわれず、様々な教科等の中で学ぶ楽しさを実感し、主体的に学習に向かっていく力を育成したいと考え、本課題を設定した。

「学ぶ楽しさ」を実感するとは、単に興味・関心をもつだけでなく、「わかった」「できた」「友だちと学んでよかった」と感じることである。知識や技能の習得を保障し、楽しさを実感できるような学習活動を積み重ねることで、自発的学習を促す意欲につながっていくものとする。そのためには、授業を改善することが必要である。本校では、「ねらい」の提示と「振り返り」の活動については、概ねなされている。そこで、今年度は、「ねらい」の吟味と「教師の発話」（ねらいに迫る発問、説明、指示、助言）の工夫を中心に研究し、児童にとっては言うまでもなく、教師にとっても魅力ある授業を目指していくことにした。

(2) 研究の仮説

各教等の授業において、ねらいの吟味と教師の発話（ねらいに迫る発問、説明、指示、助言）を工夫することで、児童が学ぶ楽しさを実感できる授業になり、自ら学ぶ児童が育つであろう。

(3) めざす児童像

- 自ら学ぶ子ども**
- ・学習に集中している子
 - ・学ぶ姿勢が身に付き、自分で課題を解こうとする子
 - ・自分の考えをもち、進んで表現している子



3 研究内容

(1) 研究授業を通しての課題への取組

期日	学年	教科・単元名	授業の視点
6 / 9	2年	国語 だいじなことをおとさずに、話したり聞いたりしよう 「ともごさんは どこかな」 指導事項：話すこと・聞くこと ウ・エ	・児童に聞くことの必然性をもたせるために、実際の場面を想起させたことは、大事なことを聞き落とさないことの重要性を意識させ、学習意欲を高める上で有効であったか。 ・児童同士で連絡し合う活動に取り組みさせたことは、「できた」「友だちと学んでよかった」という学校課題の「学ぶ楽しさ」を実感させる上で有効であったか。
7 / 7	4年	国語 場面の様子に着目して読み、しょうかいしよう 「一つの花」 指導事項：読むこと ウ	・ゆみ子のことを「めちゃくちゃに高い高いする」お父さんの気持ちは、最初に読み取ったいくつかの気持ちのうち、どれが強いかを理由付けて考えさせたことや、つなぎ言葉を用いて話し合わせたことは、学習方法として効果的であったか。
9 / 26	3年	国語 おもしろいと思うところをしょうかいしよう 「三年とうげ」 指導事項：読むこと ウ・オ	・「ぬるでの木のかげから歌ったのは誰か。」という考えの違いが生まれる問いについて、自分の考えを伝えたり友達の考えを聞いたりしたことは、「友達と学んでよかった」という学校課題の「学ぶ楽しさ」を実感させる上で有効であったか。 ・本時のねらいと振り返りは、本時の目標である「一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。(読むことオ)」を児童に達成させる上で適切であったか。
10 / 20	6年	国語 賢治の作品の「ふしぎ発見交流会」をしよう 「やまなし・イーハトーヴの夢」 指導事項：読むこと オ	・「ふしぎ発見交流会」が、自分の考えを広げたり深めたりできる力を身に付けさせるための活動として有効であったか。

11 / 24	5年	国語 すぐれた表現に着目して、物語の みりよくを伝え合おう 「大造じいさんとガン」 指導事項：読むこと エ	・前時までの読みの学習が生きた授業であったか。 ・物語年表や心情曲線、見方グラフを用いたことは、「大造じいさん」の心情 や「残雪」に対する見方の変化を捉えるのに有効であったか。
12 / 14	1年	算数 「くらべかた」 指導事項：技能	・児童の考えを引き出したりまとめたりする場面での教師のコーディネート の役割は適切であったか。

(2) 日常の授業を通しての課題への取組

日常の授業では、重点授業として毎週1時間を週案に位置付けた。また、全学年の重点授業の一覧を掲示して、その時間は、誰でもその授業を参観することができるよう公開した。重点授業の具体的方策、授業後の評価と改善策を週案に記録し、今年度の重点である、基礎力・思考力・表現力の育成に努めた。重点授業については、授業後の話し合いをし、授業力の向上と魅力ある授業の実践を積み重ねた。

6 月	校長	教頭	教務主任	5月 15日	8年
7 月				5月 21日	担任 印
生活目標 廊下や階段は右側を静かに歩こう					
生活目標 廊下や階段は右側を静かに歩こう					
15日 (月)	16日 (火)	17日 (水)	18日 (木)	19日 (金)	
算数 13-10 対称な図形	国語 7-7 笑うから楽しい時 計の時間と心の時間	国語 8-11 学級討論会をし よう	修学旅行 修学旅行	修学旅行 修学旅行	
理科 新調先生	体育 3-2 走り高跳び	音楽 3-2	遠・集宿	遠・集宿	
社会 田補え	算数 13-11	算数 算子キルヨ	修学旅行をより 充実させよう	修学旅行をより 充実させよう	
道徳 「はぐらの村の未来」 D自然環境	社会 5-5 貴族の政治とく し	社会 8-6	15-6 修学旅行をより 充実させよう	15-8	
5-1 音の重なりと びき	国工 1-1 なぞの入り口	生活づくり 学級教室	遠・集宿	遠・集宿	
6	朝寝から健康 朝の準備		遠・集宿	遠・集宿	

(3) 学力調査問題の分析と指導計画への位置付け

4 月別推進計画 後期		赤字：学力向上プランの検証		青字：学力向上に向けてのPDCAサイクルの確立	
月	日	主務者	研修内容	学力向上推進リーダー	家庭学習
10	10	教務・学指 担任	第1回 計算力テストの実施 ①質問紙(抽出) ②再調査 ③傾向の把握 実施記録	T1としても参加 ・担任がT2(個別指導や評価の見取り) ・授業のメディアや例、「課題問題」 を所とした授業の構築(「書くこと」 單元を中心に) ・教材の構築(自分の考えを書く内容 が含まれるもの) ○算プリント ○観察ワークシート活用	④NHKforSchoolの教材を利用する。 ⑤便利なくしか、自然を守るかを考え る対話活動を取り入れる。 ⑥トウサワラボで保全活動につなげる。
10	23	担任		朝寝強化期間	
11	13	推進リーダー 担任		授業公開 5年級「天気予報する」 (書く力、力)	第3回家庭学習強化週間
11	10	月水		今年度の成果と課題 来年度に向けてのテーマ の検討	
1	1	担任	第2回 計算力テストの実施 活用問題(日問題に類似した問題)テストを3, 4, 5年で実施 (調・算)		第4回家庭学習強化週間 児童(4, 5, 6年)を対象と した家庭学習に関する調査を行 い、家庭学習の実施状況を確 認する。
2	12	担任			
2	3	3,4,5年担任	D ①とちぎっ子・全国学力 調査開学習 ③質問紙再調査		
2	3	3,4,5年担任	C ②調査員 自己調査・説明・やり直し		
2	3	全教員	C ③結果分析	②結果分析	
3	3	3,4,5年担任	A ④結果分析からの課題の補習学習		結果分析からの課題の補習学習
3	3	全教員	P 来年度の年間計画作成		

各学力調査問題の分析や日頃の児童の様子から本校の課題を見出し、補充問題の選択や準備、補充指導などが指導計画へ確実に位置付けられるよう、学力向上推進計画を作成した。それぞれの具体策が相互に関連しており、見通しを持った指導ができるようにした。

4 本年度の成果と課題

(1) 成果

- ・「ねらい」を吟味するとは、次の3点であることが授業研究を通して確かめられた。
 - ①国語の一単元では、指導事項を一つに絞ること
 - ②児童の活動が見えること
 - ③児童に身に付けさせたい力を明確にすること
- ・教師の発話(ねらいに迫る発問、説明、指示、助言)を精選し工夫することにより、テンポの良い授業となり、児童の意欲へとつながった。振り返る活動も充実できた。
- ・週1回の重点授業の実施は、児童に学ぶ楽しさを実感させ、学力向上を目指す授業力の向上につながった。
- ・学力向上推進計画の作成により、研究授業や重点授業による授業改善や学力向上推進リーダーとの関わり、家庭学習の充実や「まなびタイム」(読みの向上を図る学習)などの具体策がどのように関連し合っているかが分かり、より充実した指導ができた。

(2) 課題

- ・「めあて」と「振り返り」の整合性、設定の仕方について、さらに研究していきたい。
- ・主体的で対話的な学び合いが実現できるように、児童の考えを引き出したり、つないだりしていく教師のコーディネート力を高めていきたい。